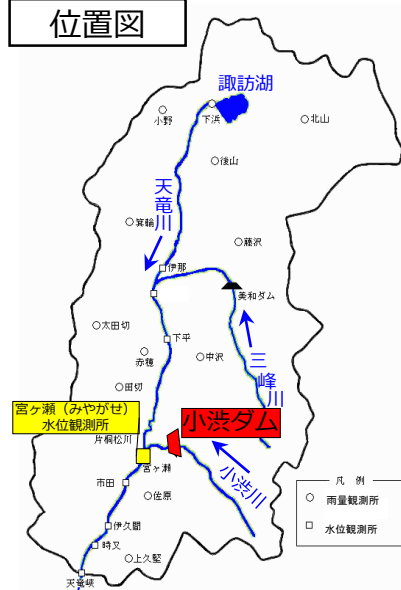


小渋ダム【防災操作による水位低減効果】

- 6月1日の降り始めからの降水量は、小渋ダム流域平均で約258mmを記録しました。
- 6月1日より降り続いた降雨により、小渋ダムでは2日12時50分に洪水量（200m³/s）に到達し防災操作を実施しました。
- 本降雨による洪水ピーク時の最大流入量は約733m³/sでしたが、小渋ダムで約420m³/sを調節し、ダム操作がなかった場合と比較して、ダム下流の宮ヶ瀬（みやがせ）水位観測所における水位低減効果は最大約41cmと推定されます。

※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正または追加をすることがあります

位置図

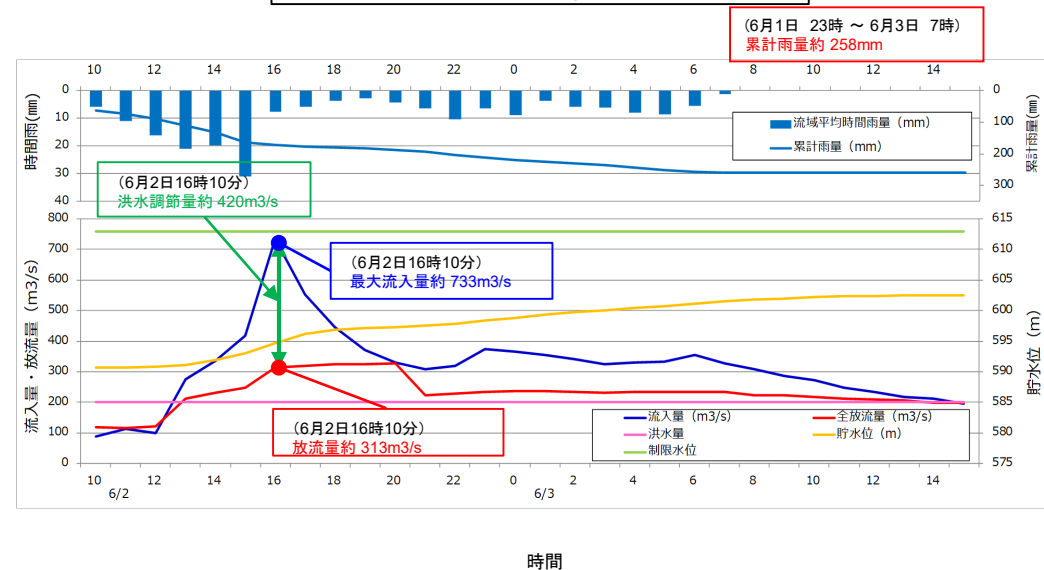


【小渋ダム概要】

河川名：天竜川水系小渋川
所在地：長野県中川村、松川町

目的：洪水調節、発電
特定かんがい
堤高：105.0m
（ダム天端標高EL.620.0m）
堤頂長：293.3 m
流域面積：288.0 km²
総貯水容量：5,800 万m³
洪水調節容量：3,390 万m³
（梅雨期）
管理開始：S44年7月～

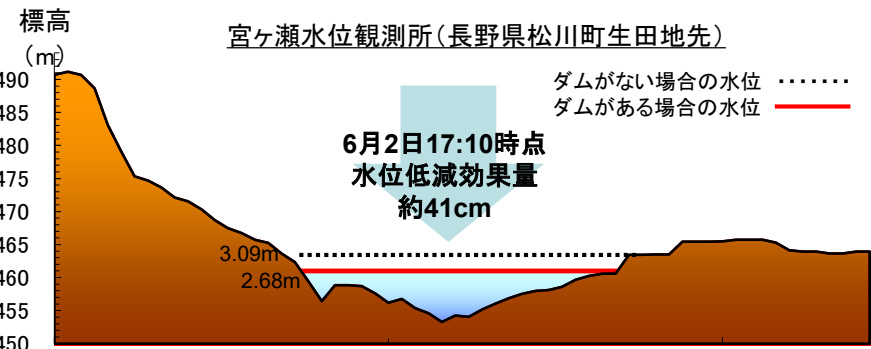
小渋ダムの防災操作の状況



小渋ダム貯水池状況
（6/2 10時）



小渋ダム貯水池状況
（6/3 15時）



ダム下流河川における水位低減効果